

ホタルが輝き 笑顔あふれる田舎都市 まいばら

米原市 環境報告書

平成21年度版



米 原 市

目次

第1章 米原市の概要

- 1. 位置・地勢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 人口・世帯数
- 3. 土地利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 4. 産業動態
- 5. 観光

第2章 環境の現状

- 1. 水質・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2. 廃棄物
 - (1) 米原市のごみ処理量実績・・・・・・・・ 9
 - (2) 米原市コンポストセンター・・・・・・・・ 11

第3章 米原市環境基本計画 平成21年度進行管理について

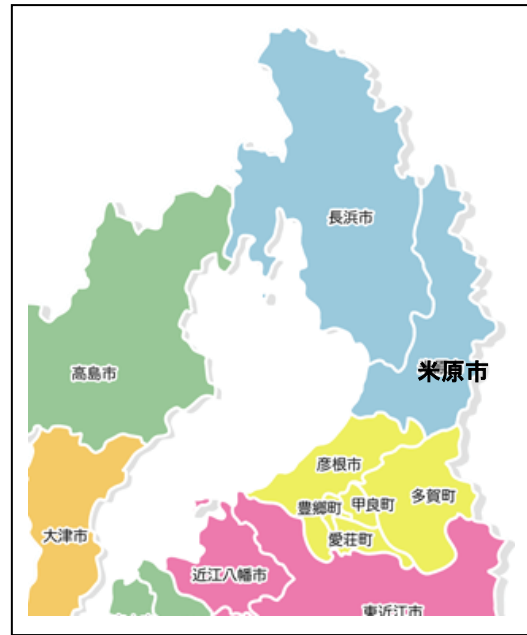
- 1. 米原市環境基本計画とは・・・・・・・・ 13
- 2. 米原市環境基本計画 8つの重点プロジェクト
- 3. 米原市環境パートナーシップ会議とは・・・・・・・・ 14
- 4. 米原市環境基本計画 実施計画の策定について・・・・・・・・ 16
- 5. 米原市環境基本計画 平成21年度版進行管理について
- 6. 平成21年度 米原市環境基本計画 実施計画 進行管理一覧表・・・・ 17

第1章 米原市の概要

1. 位置・地勢

本市は、滋賀県東北部地域の中心に位置し、市域西側を長浜市に、南側を彦根市および多賀町に、東側を岐阜県揖斐川町および関ヶ原町、大垣市に接しています。

本市の東部には日本百名山のひとつである伊吹山が、その南側には霊仙山がそびえるなど、総面積 250.46 km² の約 6 割を山林が占めています。そこから流れ出る水は姉川や天野川として市域を流れ琵琶湖へとそそいでいます。



2. 人口・世帯数

本市の総人口および世帯数は、平成 17 年 10 月 1 日現在（国勢調査）で、41,009 人、12,582 世帯となっています。

総人口については、昭和 50 年以降、概ね増加傾向で推移してきましたが、平成 17 年には減少に転じており、過去 30 年間では約 4% の増加となっています。

一方、世帯数については、一貫して増加傾向にあります。特に、平成 2 年以降の伸びが高く、過去 30 年間で約 30% 増加しています。総人口に対し世帯数の伸びが著しく、核家族化が進んでいることが伺えます。

また、年齢別構成比をみると、昭和 55 年は 15 歳未満が 22.1%、65 歳以上が 13.0% でした。しかしながら、15 歳未満の割合は年々減少する一方、65 歳以上の割合は年々増加傾向にあり、平成 17 年には 15 歳未満が 15.5% に対し、65 歳以上が 23.3% と総人口の約 4 分の 1 を占めるなど、少子高齢化の進展が著しい状況です。

(参考) 平成 21 年 3 月 31 日現在 人口：41,849 人、世帯数：13,678 世帯

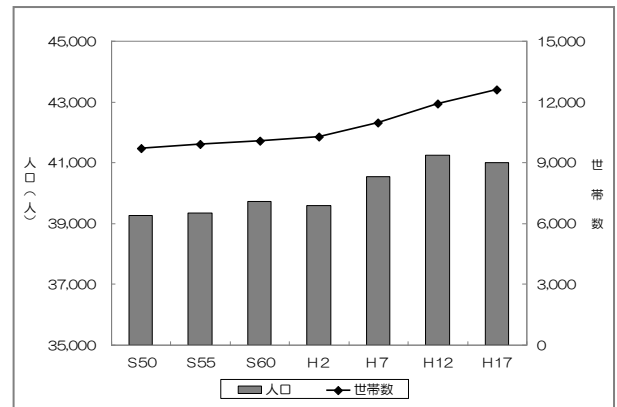


図-2 人口および世帯数の推移

資料：国勢調査

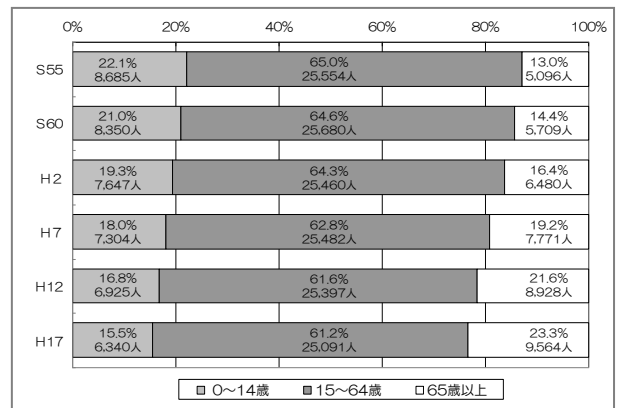


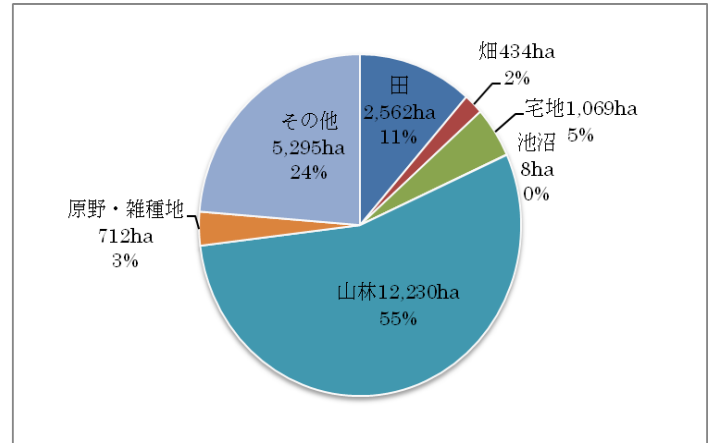
図-3 年齢別人口構成比の推移

資料：国勢調査

3. 土地利用

本市の琵琶湖を除く面積は22,310haであり、うち、山林が55%（12,230ha）を占めています。

次いで、田が11%（2,562ha）を占めており、宅地はわずか5%（1,069ha）となっています。



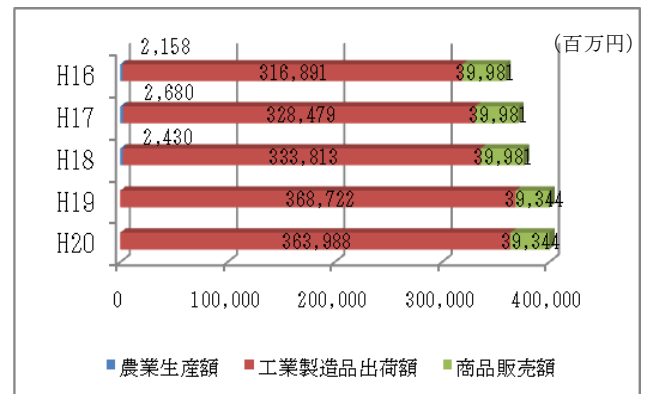
図－4 地目別土地利用面積

資料：滋賀県統計書（平成20年度）

4. 産業動態

本市の平成20年の産業別産出額は、工業製造品出荷額が3,639億88百万円、卸・小売業商品販売額が393億44百万円であり、工業製造品出荷額が9割近くを占めています。

また、農業生産額や卸・小売業商品販売額は概ね横ばい傾向で推移していますが、工業製造品出荷額は大きく増加しています。



※H19から農業生産額は、市町別データなし

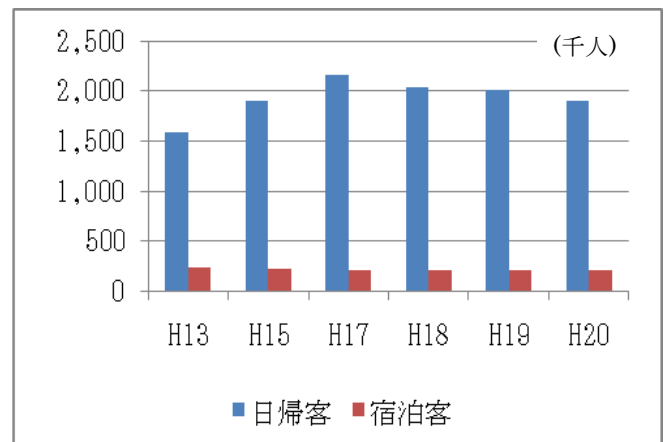
図－5 産業別産出額の推移

資料：滋賀県統計書（各年）

5. 観光

本市では、観光施設の整備、情報の発信、官民協働の努力によるイベントの充実等により、観光入込客数は近年著しい伸びを示していましたが、ここ数年は、減少傾向にあります。

また、これら観光入込客の約90%が日帰り客で占めています。



図－6 観光入込客数の推移

資料：滋賀県統計書（各年）

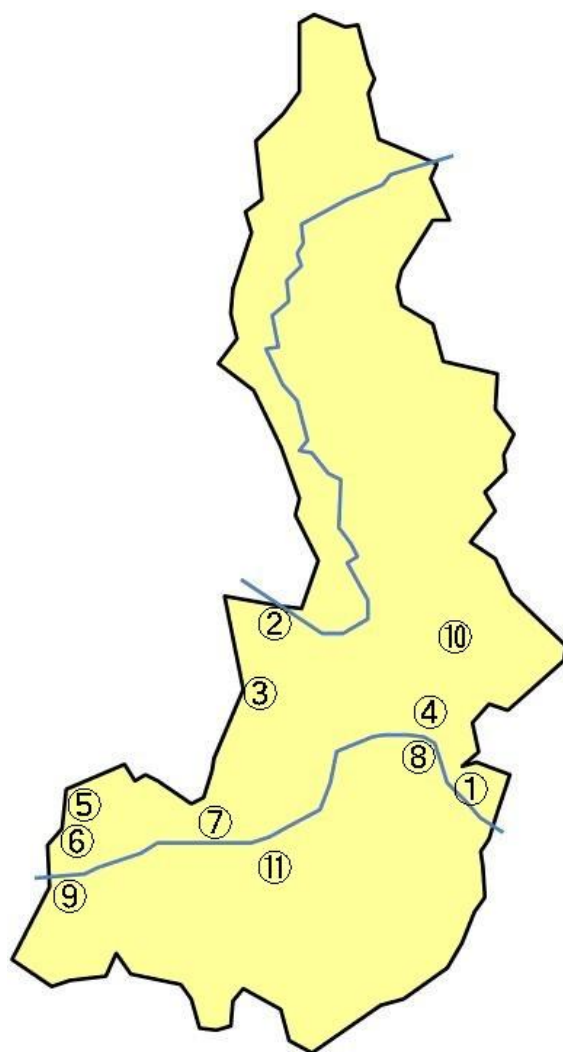
第2章 環境の現状

1. 水質

米原市は滋賀県で唯一「名水百選」と「平成の名水百選」が混在し、さらには、「水の郷百選」にも選ばれた水をめぐる歴史・文化が優れたまちです。

伊吹山や霊仙山で蓄えられた水は各所で湧き出し、姉川や天野川を通り、母なる琵琶湖へ流れ出る湧水の郷です。

この豊かな水環境を保全するため、市では毎年水質調査を実施しております。有害な物質の検出はありませんが、大腸菌群数は、高い数値を示しています。この大腸菌は、し尿汚染の指標として用いられ、一般に人畜の腸管内にも常時存在し、動物の糞便由来以外に、土壌・植物等自然界に由来するものも多くあります。大腸菌群そのものが直ちに衛生上有害というわけではありませんが、数値の動向に注視していく必要があります。



水質調査の実施状況

(年1回)

- ・地下水水質調査 28箇所
- ・河川水質調査 9箇所
- ・湧水調査 2箇所
- ・土壌調査 6箇所

※河川水質調査の天野川については年4回実施

- ①政所川
- ②出川
- ③黒田川
- ④真経堂川
- ⑤土川
- ⑥琵琶田川
- ⑦長老墓地川
- ⑧天野川上流
- ⑨天野川下流
- ⑩泉神社湧水
- ⑪居醒の清水湧水

① 政所川	単位	H18	H19	H20	H21	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.2	7.5	7.1	7.0	6.5~8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.8	0.6	1.7	0.7	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.3	2.0	2.3	1.8	-
浮遊物質(SS)	mg/L	3	1 未満	1	1	25
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	-
大腸菌群数	MPN/100mL	35000	9200	35000	4900	50
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.01
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	-
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	-

② 出川	単位	H18	H19	H20	H21	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	8.4	7.8	8.2	8.7	6.5~8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.8	0.2 未満	1.3	1.1	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.3	2.6	2.6	2.3	-
浮遊物質(SS)	mg/L	6	10	14	7	25
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	-
大腸菌群数	MPN/100mL	16000	9200	54000	1700	50
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.01
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	-
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	-

③ 黒田川	単位	H18	H19	H20	H21	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.6	7.7	7.6	7.7	6.5~8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.9	0.5	1.7	0.8	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	1.5	3.0	2.5	2.2	-
浮遊物質(SS)	mg/L	4	3	3	2	25
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	-
大腸菌群数	MPN/100mL	92000	9200	11000	3300	50
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.01
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	-
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	-

④ 真経堂川	単位	H18	H19	H20	H21	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.7	8.1	7.6	8.2	6.5~8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.7	0.7	2.2	1.1	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	1.9	3.4	4.2	3.0	-
浮遊物質(SS)	mg/L	3	5	4	5	25
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	-
大腸菌群数	MPN/100mL	9200	16000 以上	54000	4900	50
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.01
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	-
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	-

⑤ 土川	単位	H18	H19	H20	H21	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.7	7.2	8.2	8.2	6.5~8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.9	1.6	2.0	1.1	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	3.2	4.2	4.0	3.0	-
浮遊物質(SS)	mg/L	5	4	2	3	25
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	-
大腸菌群数	MPN/100mL	17000	5400	13000	490	50
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.01
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	-
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	-

⑥ 琵琶田川	単位	H18	H19	H20	H21	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.7	7.6	7.7	8.3	6.5~8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.8	1.3	1.4	0.8	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.3	3.0	3.6	2.0	-
浮遊物質(SS)	mg/L	7	9	8	2	25
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	-
大腸菌群数	MPN/100mL	24000	16000 以上	3300	700	50
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.01
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	-
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	-

⑦ 長老墓地川	単位	H18	H19	H20	H21	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.9	8.0	8.1	8.6	6.5~8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	1.3	0.6	1.7	1.0	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.9	3.8	4.2	2.7	-
浮遊物質(SS)	mg/L	7	10	1	3	25
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	-
大腸菌群数	MPN/100mL	92000	16000 以上	35000	2300	50
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.01
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	-
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	-

⑧ 天野川上流	単位	H18	H19	H20	H21	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.7	7.9	7.6	7.8	6.5~8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.6	1.4	1.4	1.8	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.0	3.0	3.4	3.6	-
浮遊物質(SS)	mg/L	3	1 未満	3	4	25
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.7	-
大腸菌群数	MPN/100mL	9200	16000 以上	13000	3300	50
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.01
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	-
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	-

⑨ 天野川下流	単位	H18	H19	H20	H21	環境基準
水素イオン濃度(pH)	—	8.5	8.4	8.6	7.9	6.5~8.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.6	1.0	1.4	1.8	1
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	1.7	1.4	2.1	2.8	-
浮遊物質(SS)	mg/L	1 未満	1	1	3	25
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	2	0.5 未満	0.5 未満	-
大腸菌群数	MPN/100mL	9200	210	4600	490	50
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.001 未満	0.005 未満	0.001 未満	0.01
鉛及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
砒素及びその化合物	mg/L	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	-
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	-

⑩ 泉神社湧水	単位	H18	H19	H20	H21	飲用基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.8	8.0	7.8	7.9	5.8～8.6
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.5 未満	0.2 未満	2.2	0.7	-
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	0.5 未満	1.2	0.5 未満	0.5 未満	-
浮遊物質(SS)	mg/L	1 未満	1 未満	1	1 未満	-
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5 未満	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	-
大腸菌	—	検出	45	不検出	不検出	不検出
カルシウム及びその化合物	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01
鉛及びその化合物	mg/L	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.005 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.05
水銀及びその化合物	mg/L	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005
砒素及びその化合物	mg/L	0.001 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1 未満	0.01 未満	0.1 未満	0.1 未満	1
亜鉛含有量	mg/L	0.1 未満	0.03	0.1 未満	0.1 未満	1
全りん (T-P)	mg/L	0.019	0.05 未満	0.022	0.05 未満	-
全窒素 (T-N)	mg/L	0.91	1.3	0.82	0.9	-
有機りん化合物	mg/L	不検出	0.01 未満	不検出	0.1 未満	-
シアン化合物	mg/L	0.001 未満	不検出	不検出	不検出	0.01
PCB	mg/L	0.0005 未満	不検出	0.0005 未満	不検出	-
塩化物イオン	mg/L	4	4.4	4	5	200
一般細菌数	個/mL	2	1	不検出	不検出	100
色度	度	1 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	5
濁度	度	0.5 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	2
臭気	—	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
味	—	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
硝酸性及び亜硝酸性窒素	mg/L	1	0.96	0.9	0.9	10
TOC	mg/L	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	3

⑪ 居醒の清水湧水	単位	H18	H19	H20	H21	飲用基準
水素イオン濃度(pH)	—	—	—	7.7	7.8	5.8～8.6
生物学的酸素要求量(BOD)	mg/L	—	—	1.1	0.8	-
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	—	—	0.5 未満	0.5 未満	-
浮遊物質(SS)	mg/L	—	—	1 未満	1 未満	-
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	—	—	0.5 未満	0.5 未満	-
大腸菌	—	—	—	検出	不検出	不検出
カルシウム及びその化合物	mg/L	—	—	0.001 未満	0.001 未満	0.01
鉛及びその化合物	mg/L	—	—	0.005 未満	0.005 未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	—	—	0.02 未満	0.02 未満	0.05
水銀及びその化合物	mg/L	—	—	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005
砒素及びその化合物	mg/L	—	—	0.005 未満	0.005 未満	0.01
銅含有量	mg/L	—	—	0.1 未満	0.1 未満	1
亜鉛含有量	mg/L	—	—	0.1 未満	0.1 未満	1
全りん (T-P)	mg/L	—	—	0.028	0.05 未満	-
全窒素 (T-N)	mg/L	—	—	1.2	1.3	-

有機りん化合物	mg/L	—	—	不検出	0.1 未満	-
シアン化合物	mg/L	—	—	不検出	不検出	0.01
PCB	mg/L	—	—	0.0005 未満	不検出	-
塩化物イオン	mg/L	—	—	13	13	200
一般細菌数	個/mL	—	—	280	8	100
色度	度	—	—	0.6	0.5 未満	5
濁度	度	—	—	0.2 未満	0.2 未満	2
臭気	—	—	—	異常なし	異常なし	異常なし
味	—	—	—	異常なし	異常なし	異常なし
硝酸性及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	1.2	1.4	10
TOC	mg/L	—	—	0.5 未満	0.5 未満	3

※環境基準は、環境基本法に基づき、水質汚濁に係る行政目標として、人の健康の保護および生活環境の保全を図る上で維持することが望ましい基準として定められています。

※水質汚濁に係る環境基準の水域類型として指定されてる河川は、米原市内では、天野川のみです。

※水質調査は8月に実施しています。(天野川は8月実施分を掲載)

※居醒の清水は平成20年度から実施しています。



名水百選「泉神社湧水」



平成の名水百選「居醒の清水湧水」

2. 廃棄物

(1) 米原市のごみ処理量実績

米原市から発生したごみは、湖北2市（米原市、長浜市）で構成される、湖北広域行政事務センターによって共同処理されています。

現在、13種17品目の分別収集を実施しており、ごみの処理量は年々減少傾向にあります。また、平成20年10月からは、ごみ指定袋の有料化を実施し、さらなるごみの減量化と再資源化を目指しています。

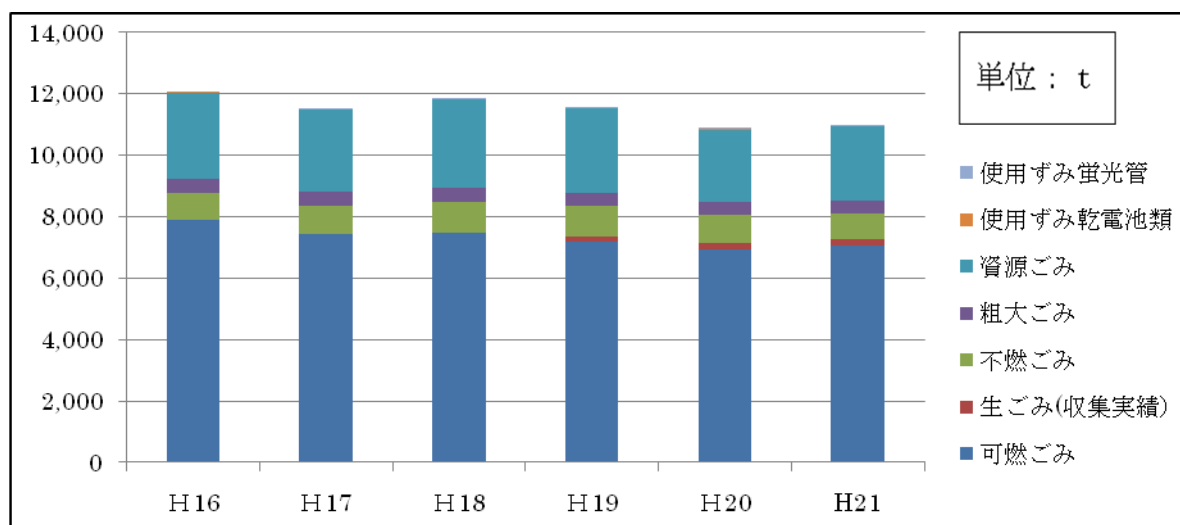
単位：kg

品目	H16	H17	H18	H19	H20	H21
可燃ごみ	7,880,869	7,453,269	7,470,353	7,172,298	6,937,139	7,057,365
生ごみ※	-	-	-	193,750	195,170	189,750
不燃ごみ	883,750	879,460	989,960	969,230	928,140	854,950
粗大ごみ	465,270	475,400	494,640	448,800	411,850	430,340
資源ごみ	2,795,640	2,668,210	2,866,080	2,728,200	2,363,940	2,395,620
使用済み乾電池類	14,350	13,630	13,460	12,800	12,420	12,370
使用済み蛍光管	-	1,017	3,336	2,443	3,991	3,365
	12,039,879	11,490,986	11,837,829	11,527,521	10,852,650	10,943,760

湖北広域行政事務センター調べ

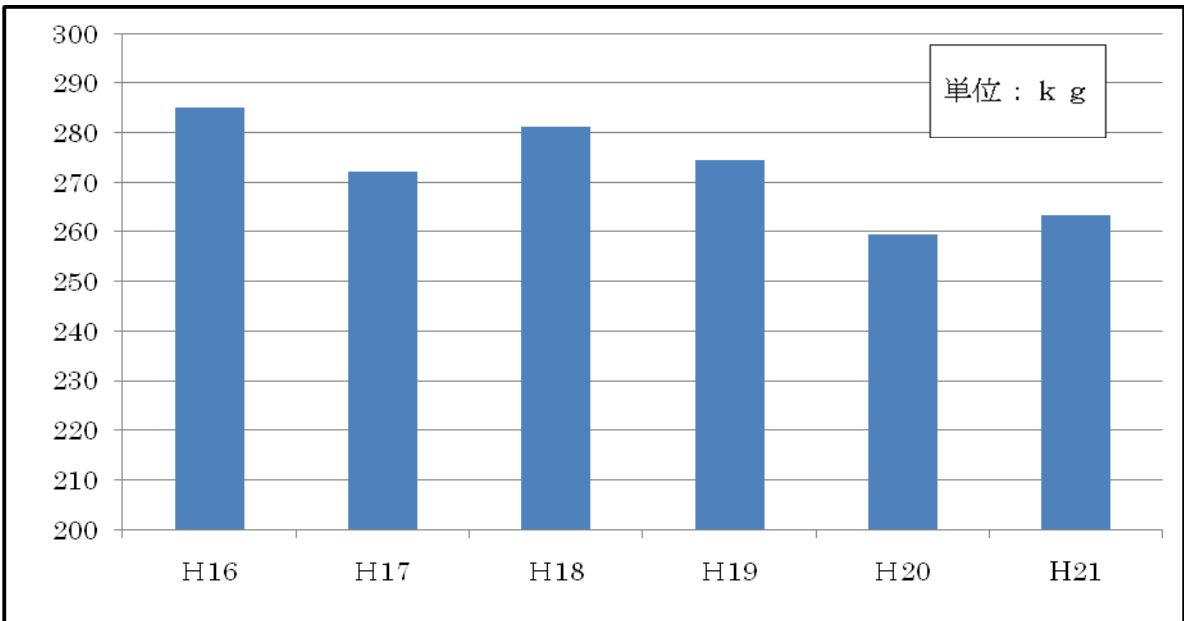
※生ごみは、伊吹地域のみ収集実績です。

米原市 ごみ処理量実績



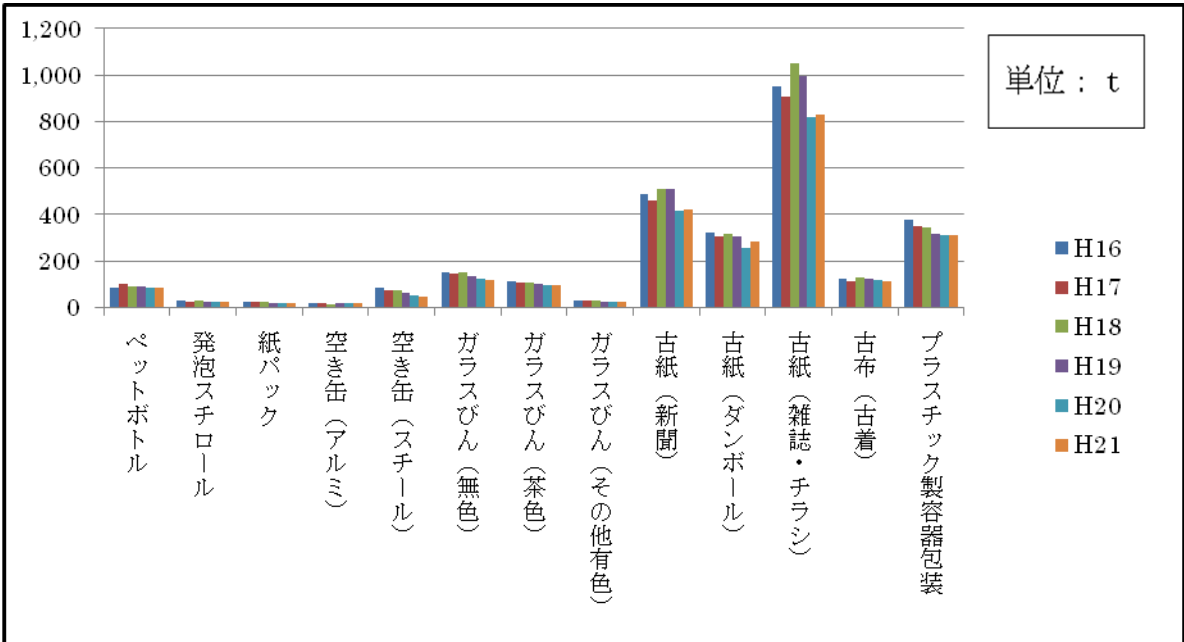
湖北広域行政事務センター調べ

米原市 一人当たり年間ごみ排出量



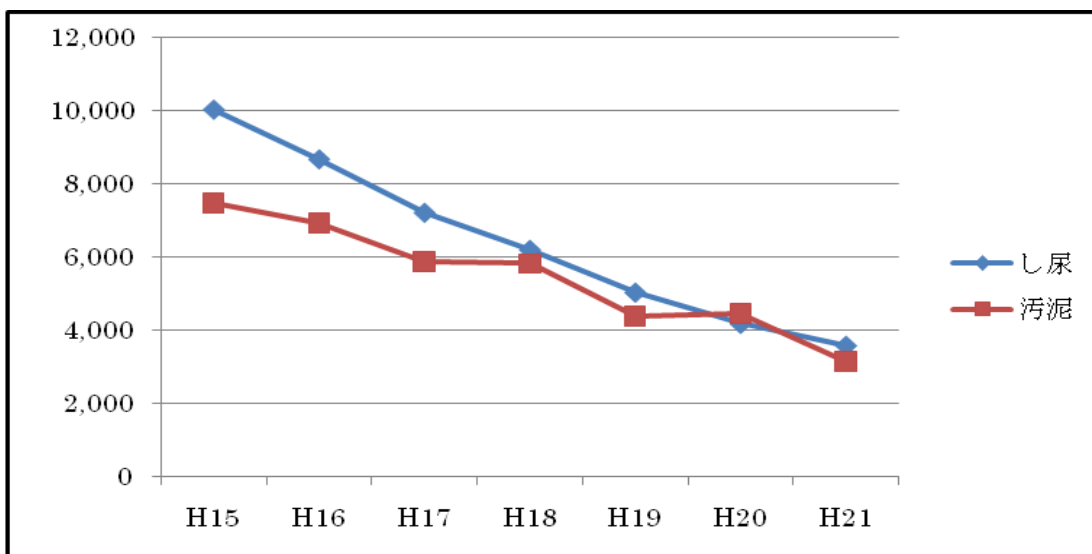
湖北広域行政事務センター調べ

米原市 年間資源ごみ収集量



湖北広域行政事務センター調べ

米原市 し尿・浄化槽汚泥収集実績



湖北広域行政事務センター調べ

(2) 米原市コンポストセンター

米原市では、平成 19 年から生ごみや牛ふん、農業集落排水汚泥を再利用し、堆肥化する施設「米原市コンポストセンター」を運営しています。この施設は、脱焼却処理により地球温暖化ガスの発生を抑制するとともに、有機物を農地還元することで農業の活性化と、有機で栽培された安全でおいしい農作物の市内流通により、市民の健康増進を目的とするものです。

施設概要

- 施設名称 : 米原市コンポストセンター
施設愛称 : コンポステーション息吹
敷地面積 : 7,524 m²
堆肥化方式 : パレット式 (自然発酵型)
処理能力 : 4.5t/日
堆肥化を行う有機質資源: (米原市伊吹地域を対象)
- ・ 農業集落排水脱水汚泥
 - ・ 生ごみ
 - ・ 刈草・剪定枝
 - ・ 畜糞



堆 肥

(名称：ゆめいぶき)

- ゆめいぶき 1号 原料：生ごみ、牛ふん、もみ殻、米ぬか、刈草選定枝
- ゆめいぶき 2号 原料：農業集落排水汚泥、もみ殻、米ぬか、刈草選定枝
- ゆめいぶき 3号 原料：牛ふん、もみ殻、米ぬか、刈草選定枝



【特長】

- ・堆肥化に長時間かけた熟度の高い堆肥
- ・発酵の過程で、65度以上の発酵温度となっていることを確認した衛生的な堆肥
- ・堆肥 1g に数十億の豊富な微生物が存在する堆肥

実 績

項 目		計画量	H18	H19	H20	H21	
搬 入 実 績	廃棄物	生ごみ (t)	558.00	59.30	193.94	195.17	200.39
		牛ふん (t)	593.90	97.60	375.19	419.79	409.20
		農業集落排水汚泥 (t)	1,271.00	35.00	270.08	329.14	326.04
		刈草・剪定枝 (t)	20.80	0.60	5.36	13.92	25.91
		合 計	2,443.70	192.50	844.57	958.02	961.54
	有価物	籾殻 (m ³)	—	800	198	607	368
		米ぬか等 (t)	—	10.87	105.25	65.88	75.99
施設稼働率 (%)			7.88	34.56	39.20	43.96	
堆肥販売量 (kg)			0	11,996	71,379	111,037	

※平成 21 年度からは、新たにゆめいぶき 3 号の生産販売を行いました。また、平成 22 年度からは、山東地域の農業集落排水汚泥を搬入できるようになり、施設稼働率は、更に上昇する予定です。

第3章 米原市環境基本計画 平成 21 年度進行管理について

1. 米原市環境基本計画とは

米原市の現状と課題を踏まえ、どのようにまちづくりを進めていくのかという市政運営の基本的な指針である「米原市総合計画」では、市民がまちづくりの主体であるとしており、また環境施策面において、本市は「田舎都市が魅せるいやしのまち」として、環境負荷を減らし、持続的発展が可能な都市を創造していくこととしています。

このような背景をふまえ

- ・ 長期的展望に立ち、「米原市のめざすべき環境像」を示す
- ・ 全ての市民の取り組むべき方針や環境配慮事項を示す
- ・ 計画推進主体となる市民・事業者・行政の担うべき役割を明確にする

以上の3点を目的として、平成20年3月に『米原市環境基本計画』を策定しました。

◆対象地域：米原市全域

◆計画期間：10年間（平成20年度～平成29年度）

◆目指すべき環境像：ホテルが輝き 笑顔あふれる 田舎都市まいばら



2. 米原市環境基本計画 8つの重点プロジェクト

「環境」とひとくちに言っても様々な分野があるため、環境基本計画では、環境を大きく4つの分野に分け、分野ごとに8つの重点プロジェクトを定め、目指すべき環境像の実現に向けて、事業に取り組んでいます。

分野1 生活環境

①「いのちの水」創造・保全事業

水は米原市を代表する資源であり、伊吹山、霊仙山を頂とする山系から琵琶湖へとつながり、流域の多くの命と豊かな自然環境を育んでいます。市内には、「泉神社湧水（名水百選）」と「居醒の清水（平成の名水百選）」という全国に誇れる湧水があります。

この豊かな水資源を、良好な状態で次世代に引き継ぐために、本市を流れる水の価値を高めていくとともに、市民が中心となった水辺の環境を保全する美化活動等の取り組みを支援します。

②街並み・都市景観形成事業

各自治会と協働して、地域の特性を活かした景観づくりを進めます。また、伊吹山や琵琶湖などへの眺望を確保するなど、自然の風景を活かした景観づくりに取り組みます。

分野2 自然環境

③市民参加の森づくり事業

市民が協力して山林環境の保全に取り組めるよう、「市民参加の森づくり」を通して市民やNPOによる交流ネットワークの形成を進めます。

④米原式環境保全型農業推進事業

農薬使用量の削減、「ゆめいぶき」等の有機堆肥の利用、ホタルへの影響を考慮した草刈り・草焼き時期の設定など、人にも生き物にもやさしい環境保全型農業を進めます。

⑤自然豊かな川づくり・ふれあいのある水辺づくり事業

市民・事業者・行政の各主体が協働し、ホタルが生息しやすい「自然豊かな川づくり」を進めていきます。また、市民がホタルにふれあえる「ふれあいのある水辺づくり」を進めることにより、市民の環境に対する認識を高め、市民が主体となって多様な生き物が生息できる自然環境の創造・保全に取り組める環境づくりを進めていきます。

分野3 循環

⑥地球温暖化対策推進事業

未利用資源を活用した循環システムの構築、地球温暖化防止実行計画の策定など、温室効果ガスの削減に向けた計画的な取り組みを実行していきます。また、地球温暖化の原因となる二酸化炭素は、私たち一人ひとりの心がけで大きく削減することが可能であることから、市民・事業者・行政がそれぞれの立場で協力しあい、地球温暖化防止に向け、先進的な取り組みを進める米原市をめざします。

⑦バイオマスタウン構想推進事業

これまでごみとして処理されてきたものを、再使用・再生利用し、資源として活用する循環型のまちづくりを進めます。伊吹地域で行っている堆肥化事業をさらに発展させ、市全域での事業可能性について検討します。また、現在活用されていないバイオマスの資源化についても検討します。

分野4 ひと

⑧田舎都市を育む環境リーダー育成事業

さまざまな取り組みを通じて、地域の環境リーダーを育成するとともに、環境リーダーを中心に、市民全員が環境保全活動に取り組める社会を築いていきます。

3. 米原市環境パートナーシップ会議とは

米原市環境パートナーシップ会議とは、環境基本計画に掲げる目的の実現に向けて、市民・事業者・行政が協働して持続可能なまちづくりを行い、環境基本計画の効果的な推進を図るために設けられた会議です。環境基本計画の進行管理は、本会議が主体となって行っています。

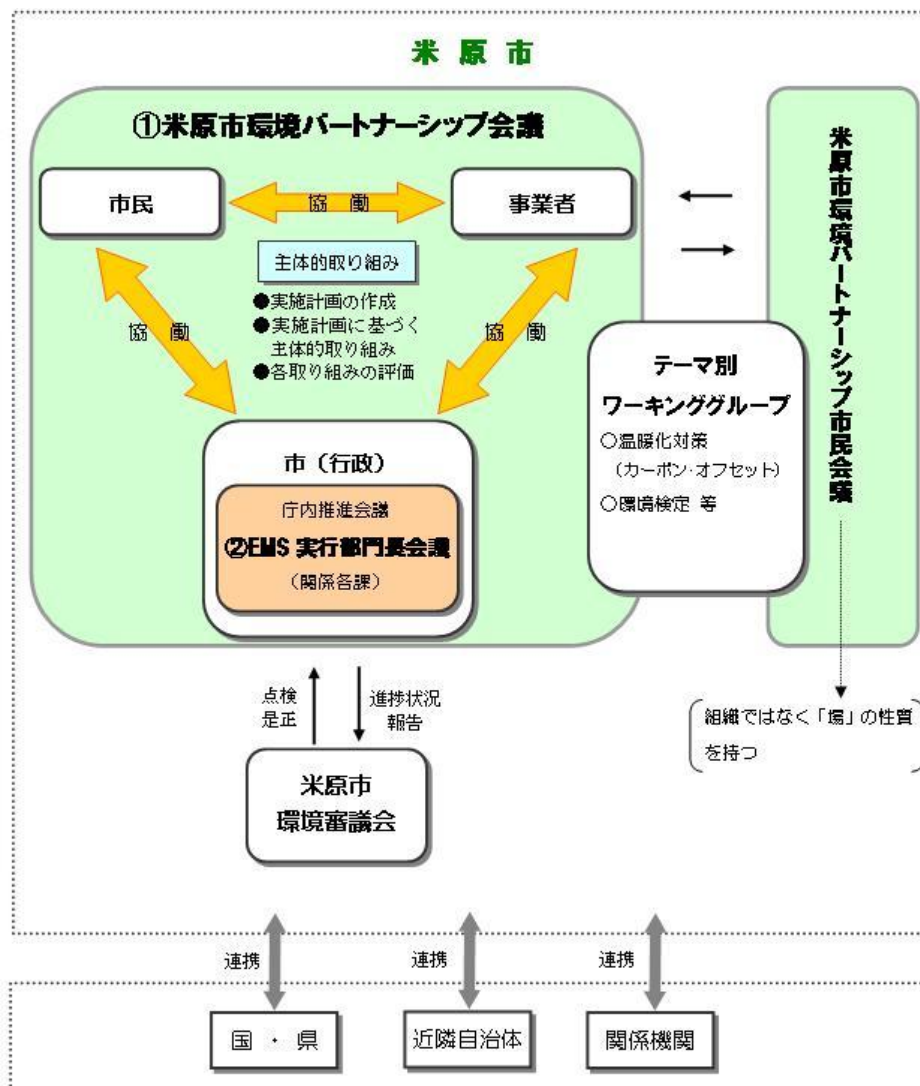
米原市環境パートナーシップ会議 委員名簿

(順不同、敬称略)

	氏名	所属等
○	北村 欣見子	公募市民
	中田 恵理香	公募市民
	樋口 善一郎	公募市民
	溝口 厚雄	公募市民
	山下 幸三	三菱樹脂(株)山東工場 総務部 総務・勤労グループ グループリーダー
	西堀 武	(株)滋賀銀行 総合企画部 CSR 室長
	龍 圭之輔	(株)平和堂 総務部 環境推進室長
	今中 力松	米原市商工会 副会長(力興木材工業(株) 代表取締役)
◎	鵜飼 修	滋賀県立大学環境科学部 准教授
	林 宰司	滋賀県立大学環境科学部 准教授

◎：米原市環境パートナーシップ会議 会長

○：米原市環境パートナーシップ会議 副会長



4. 米原市環境基本計画 実施計画の策定について

環境基本計画は、目標や方針など大まかな枠組みを示したものであり、実際に事業を行っていくためには、基本計画に基づく「実施計画」を作成する必要があります。

実施計画の作成にあたっては、米原市総合計画の事務事業（全 749 事業）の中から「環境」に関する事務事業を選び出し、米原市環境マネジメントシステムの実行部門長会議（課長級の会議）を通じて、事業担当課が「実施計画シート」を作成しました。この実施計画シートに、米原市環境パートナーシップ会議委員からの意見を取り入れ、最終的にまとめたものが実施計画（全 33 事業）となります。

5. 米原市環境基本計画 平成 21 年度版進行管理について

実施計画には、事業の成果指標となる目標値が定められており、事業担当課から平成 21 年度に実施した取り組みの内容および実績値、担当者評価等の聞き取りを行い、平成 21 年度の米原市環境基本計画の進行状況を取りまとめました。

この進行状況については、米原市環境パートナーシップ会議において議論され、委員による評価がなされ、その結果は、以下の「6. 平成 21 年度米原市環境基本計画 実施計画進行管理一覧表」にまとめました。

平成 21 年度の実績を点数付けすると、100 点満点で・・・

54 点 となります。

尚、点数の評価は、環境パートナーシップ委員会の委員が付けた評価マーク

-  を 3 点、
-  を 2 点、
-  を 1 点、
-  を 0 点とし、

基礎配点の 1 点を加え、計算しております。

平成 21 年度 米原市環境基本計画 実施計画 進行管理一覧表



【重点プロジェクト】

(1) 「安全で快適な田舎都市」創造プロジェクト

1 「いのちの水」創造・保全事業

1-1 水源の里事業（水源の里振興室）

市民があらゆる人々と地域の持つ価値を共有することで、上流と下流が支えあう関係づくりを進め、自然環境、文化、人など様々な資源の循環によって再生される地域社会「自然循環共同体」の形成を目指します。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎条例の制定に向けて ○「水源の里まいばら元気みらい条例」骨子の作成 ○まいばら水源の里市民フォーラムの開催 ○パブリックコメントの実施	◎条例の理念を具現化するための事業展開 ○水源の里まいばら・みらいの田舎イメージづくり事業 自慢できる資源（価値）の再発見をすすめ、その価値を活かした地域ブランドイメージの構築 ○まいばらグリーン・ツーリズム推進事業 元気の源を作るため、この地を訪れ、価値や魅力を見つけ、感じて、行動する人を増やすための仕組みづくり。 ○まいばら田舎暮らし支援事業 水源の里に魅力と価値をもち、移住する人を増やし、人口定住化を図るための支援。	交流人口	交流人口増 延べ 1,600 名	○水源の里まいばらの価値を伝えるプロモーションおよび体験を通じた交流事業等の推進 ○水源の里指定地域における空き家を活用した移住の推進 ○水源の里まいばらの自然環境などを守り活かすためのボランティア活動等の推進と地域団体等の活動支援	交流人口	交流人口増
		移住者数	移住者数増 H25：15 名 1 名		移住者数	移住者数増 H25：15 名
	◎「水源の里まいばら元気みらい条例」制定 ○プロモーション戦略有識者会議準備会の開催 ○プロモーションツールを制作 ○子ども向け小冊子作成委員会の開催 ○グリーン・ツーリズムにおける体験メニューの検討・作成 ○空き家再生活用支援制度の施行 ○指定地域における集落点検 ○地域団体が行う地域資源を活かした交流事業 ○生活環境維持のためのボランティア等の受入れ支援の実施	ファン倶楽部の加入者数	ファン倶楽部の加入者数増 体制づくりの検討のみ		ファン倶楽部の加入者数	ファン倶楽部の加入者数増
		サポーターの数	サポーター数増 約 150 名 (CSR 約 120 名、ボランティア約 30 名)		サポーターの数	サポーター数増
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 あと一歩です	 よくできました	・交流人口については、カウント仕方によりかなり違ってくるため、カウント内容を明確にすること。				



1-2 公害防止対策事業（環境保全課）

米原市の豊かな水資源をはじめする環境を、良好な状態で次世代に引き継ぐため、市内の事業所・工場からの公害を未然に防ぐ。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎市内河川・地下水・湧水・土壌の分析調査の実施 ◎市内特定施設設置の工場立入調査の実施	◎市内河川・地下水等の分析調査の実施 ◎市内特定施設設置の工場立入調査の実施	公害防止協定締結	随時	◎市内河川・地下水・湧水・土壌の分析調査の実施	水質等環境基準不適合箇所	0 箇所
◎市内特定施設設置の工場立入調査の実施	◎市内河川・地下水等の分析調査の実施 河川 9 箇所、地下水 27 箇所、湧水 2 箇所、土壌 6 箇所 ◎市内特定施設設置の工場立入調査の実施		0 件	◎市内特定施設設置の工場立入調査の実施		
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 評価できません	 がんばりましょう	・水質調査の項目、環境基準を明記すること。				



1-3 下水道の水洗化事業（上下水道課）

生活排水をはじめトイレの水洗化を促進することで、生活環境の向上と地域の水質保全を図る。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎自治会に対する水洗化促進啓発 ◎未水洗化世帯への個別啓発、相談支援	◎供用開始後 3 年が経過した自治会に対して水洗化促進啓発の実施。 ◎未水洗化世帯への個別啓発、相談支援等の実施。 ◎高齢者等で水洗化困難者への福祉サイドとの連携による支援。 ◎広報まいばらで啓発。 ◎アンケート実施。	下水道水洗化率 (H29: 96%)	82.4%	◎広報まいばら、伊吹山テレビでの啓発実施。	下水道水洗化率	82.6%
◎未水洗化世帯への個別啓発、相談支援	◎広報まいばらによる啓発および個別訪問を実施。 ◎未水洗化の職員を対象にアンケート調査を実施。		82.3%	◎重点啓発地区を定め、個別訪問を実施。		
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 よくできました	 がんばりましょう	・水洗化には、個人の設備投資が必要となり、啓発だけで目標値が達成できるのかどうか。（補助金等の検討） ・最終目標値の見直しも必要ではないか。 ・汚水マスの清掃など維持管理の啓発も必要ではないか。				

1-4 散在性ごみ対策事業（環境保全課）



市内における廃棄物の散乱を防止し、環境美化を推進する。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎環境美化推進を図るため、通報のあった不法投棄等の回収。 ◎要望があった自治会に対して、不法投棄防止看板の配付。 ◎環境美化監視員を委嘱し、巡回パトロールを実施。 ◎クリーンパトロール事業をシルバー人材センターに委託。 ◎美化ボランティア活動を広げるため、エコフォスター団体に補助金交付。 ◎臨時清掃作業職員を雇用し、不法投棄監視の強化と散在性ごみの回収による美化推進。	◎不法投棄看板を設置による啓発。 ◎環境美化監視員を委嘱し、巡視を実施。 ◎クリーンパトロール事業をシルバー人材センターに委託。 ◎美化ボランティア活動を広げるため、エコフォスター団体に対し補助金の交付。 ◎環境美化推進を図るため、通報のあった不法投棄等の回収。 ◎要望があった自治会に対して、不法投棄防止看板の配付。 ◎環境美化監視員を委嘱し、巡回パトロールを実施。 ◎クリーンパトロール事業をシルバー人材センターに委託。 ◎美化ボランティア活動を広げるため、エコフォスター団体に補助金交付。 ◎臨時清掃作業職員を雇用し、不法投棄監視の強化と散在性ごみの回収による美化推進。 【自治会清掃（年3回以上実施）】 53自治会 【不法投棄回収実績】 可燃ごみ 5,710kg 不燃ごみ 11,015kg	環境美化活動を行っている自治会（年3回）	全自治会 105自治会 53自治会	不法投棄および散在性ごみによる、ごみの散乱防止対策として、環境美化監視員および不法投棄禁止看板の設置を行うとともに、清掃作業員の雇用により市内の環境美化推進に努めます。 ◎ポイ捨て条例の制定 ◎米原市エコフォスター事業の検討	環境美化活動を行っている自治会（年3回）	全自治会 105自治会 10トン以内
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 よくできました	 あと一歩です	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値については、不法投棄の未然防止が重要であり、回収量と併せて件数を記載すること。 ・パトロール活動は重要である。 ・全自治会 105自治会を最終目標で掲げているが、周期目標を定めることも必要である。 ・エコフォスター事業は継続する必要がある。 				

2 街並み都市・景観形成事業



2-1 街並み環境整備事業（都市計画課）

市内の歴史的な街なみを保存することで、良好な住環境の整備を図る。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎街づくり協定に沿った家屋修景への補助の実施 4件 ◎街づくり協議会の開催（道路の美装化について説明） 5回	「街づくり協定」に協定に沿った家屋の修景整備へ補助を実施。 修景補助の実施 5件。 <u>（内1件は建物壁面に地場産木材を使用）</u> 街づくり協議会を1回、協定運営委員会を2回開催。	修景施設整備補助件数 (H25:20件)	4件 5件(累計11件)	「街づくり協定」に協定に沿った家屋の修景整備へ補助を実施。	修景施設整備補助件数 (H25:20件)	4件
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 よくできました	 よくできました	<ul style="list-style-type: none"> ・街並みだけでなく、そこに根ざしている暮らしや文化が重要である。 ・同じような醒井等の中山道沿いの集落とのバランスはどうか。 				

2-2 米原駅周辺整備事業（米原駅周辺整備課）

米原駅東口において、民間活力の導入等により、市の玄関口にふさわしい都市機能の誘導と都市景観の創出を図る。



H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎7月 米原駅東口周辺まちづくり事業プロポーザル 公募開始 10月 経済状況の悪化により、実施方針の変更 ◎西口駅前広場 H20年度設計完了照度に配慮した設計の実施 ◎東口駅前広場 H20年度設計着手ユニバーサルデザインを配慮	◎米原駅東口周辺まちづくり事業プロポーザル（景観や環境にも配慮した東口駅前の再開発計画、まちづくり事業提案を求めます。） ◎東西駅前広場整備（周囲の景観との調和、緑化等に配慮します。） ◎駅前の都市施設整備（周囲の景観と調和したシェルター、駐輪場、街灯、カラー舗装等） ◎事業者（企業）、地元自治会等と連携した美化、修景活動 ◎プロポーザルを実施することができなかった。	プロポーザル公募要項および審査項目に「景観形成、環境配慮等」を入れる	—	◎東西駅前広場整備（周囲の景観との調和、緑化等に配慮します。） ◎駅前の都市施設整備（周囲の景観と調和したシェルター、駐輪場、街灯、カラー舗装等）	プロポーザル公募要項および審査項目に「景観形成、環境配慮等」を入れる 鉄道利用の促進	
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 よくできました	 評価できません	・特に意見なし。				

(2) 「ホタルが輝き続ける豊かな田舎都市」創造プロジェクト

3 自然豊かな川づくり・ふれあいのある水辺づくり事業



3-1 蛍保護事業（環境保全課）

市の豊かな自然環境を象徴するホタルを保護するため、緑豊かなまちづくりを推進し、市民等の環境保全意識の高揚と環境教育の充実を図ります。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎2008ほたるサミットin下関へ参加（6/19, 20） ◎環境出前集会にてホタル保護啓発（3回） ◎ホタルパトロールの実施（ほたるまつり期間中10回） ◎蛍保護条例特別保護区域の選定（3か所） ◎蛍保護啓発看板の設置（7か所）	◎特別保護地区の選定、追加（条例改正） ◎出前講座等でのホタル保護啓発 ◎ほたるサミットへの参加 ◎ホタルパトロール ◎条例改正を行い特別保護区域3地域を追加。 ◎ほたるサミットを開催し、ホタル保護活動の意見交換、参加市町との自然環境保全に係る交流を図った。 ◎ホタルパトロールを14日間実施した。	蛍保護活動団体数	蛍保護活動団体数増 4団体 (H20: 4団体)	◎ほたるサミットへの参加 ◎ホタルパトロールの実施	蛍保護活動団体数	蛍保護活動団体数増
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 よくできました	 あと一歩です	<ul style="list-style-type: none"> ・3-1と3-2の関係で、両方ともホタルを保護しようとするものであるが、人が大勢くるとごみが散乱し、逆効果になることになる。 ・ほたるまつり事業の収益を保護活動に利用できないか。 ・環境保全課と商工観光課での横断的な対応が出来ないか。 ・実施内容と指標がミスマッチである。活動団体数を指標として使うのであれば、行政が介入して、増加するような施策が必要。 ・視点を広げてスローライフ（ライフスタイル）まで考えてはどうか。 				



3-2 ほたるまつり事業（商工観光課）

ホテルを自然豊かな環境を創造していくための指標としてとらえ、ほたるまつりを通じて、市民が様々な観点から身近な自然とまちの形態を見つめ直す。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
<p>◎ほたる発生地付近までシャトルバスを運行し、CO2削減に努めました。 （期間中。土日の2日間のみ実施）</p> <p>◎ほたるまつりの広報紙である『ほたるん通信』に、家用車とシャトルバスのCO2排出量の比較を行い、環境意識の啓発を図りました。</p>	<p>◎市民、事業者と行政が連携を図り、ホテルの保護を通じての環境保護活動を推進します。</p> <p>◎まつりを通じての環境教育の推進と、シャトルバス運行によるCO2削減に努めます。</p> <p>◎ほたるサミット開催による環境保護活動の重要性を広く市民に対し、啓発を行います。</p> <p>◎CO2の削減に向け、シャトルバスやJRの利用促進によりマイカーの乗り入れを規制します。</p> <p>◎市民、事業者と行政が連携を図り、ホテルの保護を通じて環境保護活動を推進。</p> <p>◎シャトルバス、蛍観賞バスを活用し、JR利用促進やマイカーの乗り入れを規制。</p> <p>◎ほたるサミット開催により環境保護活動の重要性を広く啓発。</p>	<p>ほたるまつり来訪者数</p> <p>シャトルバス利用率</p>	<p>30,000人</p> <p>30,600人</p> <p>10%</p> <p>23%</p>	<p>◎市民、事業者と行政が連携を図り、蛍の保護を通じて環境保護活動を推進する。</p> <p>◎CO2の削減に向け、シャトルバスやJRの利用促進によりマイカーの乗り入れを規制する。</p>	<p>ほたるまつり来訪者数</p> <p>シャトルバス利用率</p>	<p>30,000人</p> <p>23%</p>
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 がんばりましょう	 よくできました	<ul style="list-style-type: none"> ・収益を環境の保全に活用するなどの対応が必要ではないか。 				



3-3 自然保護事業1（商工観光課）

エコツーリズムなどを通じて自然環境に対する正しい知識を普及し、都市住民と地元住民が連携して活動の活発化を図る。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
<p>◎伊吹山の観光ガイドの依頼があった場合は、現在活動中の伊吹山ネイチャーネットワークや伊吹山もりびとの会を案内した。 ガイドの養成は、各団体が実施されている。</p>	<p>◎現在活動中の、伊吹山ネイチャーネットワークや伊吹山もりびとの会の会員を対象に、自然案内人としての知識の向上と人材育成を図ると同時に、会員の増加を目指します。</p> <p>◎伊吹山ネイチャーネットワークや伊吹山もりびとの会の会員を対象に、自然案内人としての知識の向上人材育成を図ると同時に、会員の増加を目指す。</p>	<p>自然案内人の数</p>	<p>50人</p> <p>31人</p>	<p>◎伊吹山ネイチャーネットワークや伊吹山もりびとの会の会員を対象に、自然案内人としての知識を向上し人材育成を図る。</p> <p>◎昨年に引き続き観光ボランティア養成講座を開催し、豊かな自然を含めた米原市のよさをPRできる観光ボランティアガイドを養成する。</p>	<p>自然案内人の数</p>	<p>50人</p>
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 あと一歩です	 あと一歩です	<ul style="list-style-type: none"> ・自然案内人の数は、登録されている人数だけでよいのか。どれだけ活動されているのかも指標としてカウントしてはどうか。（自然条件により活動内容は左右される場合が多いので、活動を指標にするのは難しい。） ・集落のことさえ知らない人がおおいので、身近な山、川、田畑から初めてはどうか。 				



3-4 自然保護事業2（環境保全課）

伊吹山のお花畑をはじめとした米原市の豊かな自然、多様な動植物を保護・保全する。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎伊吹山5～8合目スキ刈 ◎伊吹山自然再生全体構想の策定 ◎伊吹山自然再生事業計画の策定 ◎霊仙山登山道整備	◎外来植物の伐採、利用ルールの設定を行い、固有植物の保護、人による侵入の防止等を図る。 ◎伊吹山自然再生協議会において、伊吹山の適正な保護に努める。 ◎環境検定を活用し、自然保護活動を実践する生き物調査保全員を育成する。 ◎伊吹山自然再生事業計画に基づき伊吹山頂草原植物群落の植生を復元し、保護を行うため、山頂付近の低木類を地際から伐採した。 ◎伊吹山登山道に設置してある公衆トイレの維持管理を行った。 ◎霊仙山登山道の草刈や看板などの修繕を行い、安全で快適な登山ができるように努めました。	伊吹山の自然再生生き物調査保全員		◎伊吹山自然再生事業計画に基づき伊吹山頂草原植物群落の植生を復元し、保護を行います。 ◎伊吹山登山道に設置してある公衆トイレの維持管理を行い快適な登山ができるよう努めます。 ◎霊仙山登山道の草刈や看板などの修繕を行い、安全で快適な登山ができるように努めます。		
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 評価できません	 評価できません	・伊吹山自然再生事業は難しい。（事業者の環境意識が低い。） ・目標値の設定が必要。自然保護事業で本来どのようなことをするべきか。そのことから目標値が出てくるのではないか。 ・環境保全には、お金がかかる認識をもってもらい必要がある。（受益者負担の検討） ・米原版の山の子、海の子、田んぼの子のような自然を知るような教室づくりをしてはどうか。 ・エコツーリズムと結びつけていってはどうか。				

3-5 河川愛護事業（建設課）



地域との協働による河川愛護活動を通じて、河川の保全・美化を推進し、河川愛護意識の向上を図る。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎地域が行う河川の維持管理としての「ふるさとの川づくり事業」を1級河川を有する自治会に委託した。 委託契約数：68自治会 ◎7月のびわ湖一斉清掃にあわせて、おもに除草、清掃をしてもらう。 ◎H20年度から木の伐採も加わった。	◎地域が行う河川の維持管理としてのふるさとの川づくり事業（「除草」・「川ざらえ」・「竹木の伐採・管理」）を一級河川を有する自治会に委託します。 また、水とふれあう空間を創出するため、階段、通路等の整備を検討します。 ◎地域が行う河川の維持管理としてのふるさとの川づくり事業（「除草」・「川ざらえ」・「竹木の伐採・管理」）を一級河川を有する自治会に委託	ふるさと川づくり事業委託契約数	H18.66 自治会 H19.65 自治会 H20.68 自治会 (目標63自治会) 草・清掃：63自治会+1団体 伐木・伐竹：8自治会 川ざらえ：1自治会	◎地域が行う河川の維持管理としてのふるさとの川づくり事業（「除草」・「川ざらえ」・「竹木の伐採・管理」）を一級河川を有する自治会に委託します。 また、水とふれあう空間を創出するため、階段、通路等の整備を推進します。	ふるさと川づくり事業委託契約数	草・清掃：63自治会、伐木・伐竹：5自治会
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 よくできました	 よくできました	・1級河川を対象としているが、河川敷きはされるが、河川の中までは危険があるため実施できない。 ・県に対して自治会でできない部分についての管理をしっかりと実施するように要望する。				

4 米原式環境保全型農業推進事業



4-1 食育推進事業1 (健康づくり課・農林振興課)

米原式環境保全型農業を進めるために、食育を推進し、地元産の農産物を地域で消費する「地産地消」に取り組む。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎米原市食育推進協議会および米原市食育推進計画策定調整会議（庁内会議）の開催 ◎パブリックコメントの実施 ◎平成21年3月に食育基本法第18条の規定による市町村食育計画として「米原市いきいき食のまちづくり計画」を策定	◎食育講演会や料理講習会の開催など、食に関する啓発の実施。 ◎生産者と消費者の交流を図る「農林水産まつり」の開催。 ◎学校給食に、地場産野菜の積極的な導入。 ◎健康推進員による地区組織での食育活動の推進。 ◎食育を推進していく人材や団体の育成、支援。 ◎いきいき食のまちづくりフォーラム開催（農林水産まつり同時開催） ◎食育講習会の開催（3回実施） ◎学校給食における地場産農産物の導入、給食だよりで紹介 ◎健康推進員による食育推進活動（料理教室、人形劇など） ◎健康推進員支援および養成講座の開催	家庭での米原産農産物使用頻度	H25：60% (アンケート調査により回答) —	◎食育講習会において食に関する啓発の実施 ◎各幼稚園・保育園における食育教室の開催 ◎学校給食に地場産野菜の積極的な導入 ◎健康推進員による地区組織での食育活動の推進 ◎食育を推進していく人材や団体の育成、支援	家庭での米原産農産物使用頻度	H25：60% (アンケート調査により回答)
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 評価できません	 評価できません	<ul style="list-style-type: none"> 指標頻度を目標値とするのであれば、アンケートは毎年するべきではないか。 単年度では30%でアンケート実施する等してはどうか。 実施60%の根拠は何か。 調査を、大学と協力してできるのではないか。 健康推進員の活動や男性料理教室でも地場産を使用しており、そういうものも目標値に入れてはどうか。 特産品や直売所の取り組みと連携してブランド化を図る。 				



4-2 食育推進事業2 学校給食（米原東部・西部学校給食センター）

安全・安心でおいしい学校給食を提供し、食生活の基礎・基本を身につけた次代を担う米原っ子を育成する。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎学校給食における米原産農産物の納入について基本協定書の締結（市とレーク伊吹農協）	◎給食センターが希望する野菜品目に対し、レーク伊吹農協が生産農家の取りまとめを行い、指定する期日、数量、搬入方法に従い適正に納入する。 ◎平成20年7月から米原市内の全幼小中学校の給食食材として活用し、平成21年度以降は活用する野菜品目の拡大を目指す。 ◎栄養士が学校に出向いてメニューや食材についての話をしたり、給食だよりにより生産者の紹介などを掲載して食育につなげる取り組みを実施しており、今後も継続する。 ◎学校給食の食材に農協を通じて地場産物を積極的に取り入れるとともに、新設した東部給食センターの調理研修室にて生産者を交えて研修、意見交換会を実施した。給食だよりにより生産者農家や給食メニューの中で地場産の紹介を行った。	地場産物を使用する割合	22% 22.4%	学校給食の食材の安定した供給と品目の拡大を図るため、レーク伊吹農協との連携のもと地場産物の活用拡大を図る。	地場産物を使用する割合	23%
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 よくできました	 よくできました	<ul style="list-style-type: none"> 目標値が低いのではないか。 				



4-3 食育推進事業3 田んぼの子体験事業（農林振興課）

子どもたちが農業への関心と理解を深め、生命や食べ物の大切さを体験的に学ぶための体験学習を推進します。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
市内の小学生が田んぼでの稲作体験や、水辺や周辺の川などに生息する生き物観察体験を行い、収穫物を利用した田んぼの大切さ（食育）を学びます。 H20 年度：11校	市内の全小学校で、田んぼでの稲作体験や、水辺や周辺の川などに生息する生き物観察体験を行い、収穫物を利用した食べ物の大切さ（食育）を学びます。 市内の小学校で田んぼの稲作体験や野菜の植え付けを行い、自分たちで収穫することにより食べ物の大切さや仕組みを学ぶことができた	実施する小学校数	12校 12校	市内の小学校で田んぼの稲作体験や野菜の植え付けを行い、自分たちで収穫することにより食べ物の大切さを学べる。農業者さんと交流をすることにより地域密着の活動ができる。	実施する小学校数	12校
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 あと一歩です	 よくできました	・特に意見なし				



4-4 米原式環境保全型農業推進事業（農林振興課）

有機質資源を有効に活用し、できるだけ環境への負荷を少なくする「米原式環境保全型農業」を推進します。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎環境こだわり農業の推進 ◎環境負荷の少ない農薬の利用促進 ◎耕畜連携による環境にやさしい農業の推進 ◎集落営農組織の支援	*環境こだわり農業の推進：環境こだわり農産物として高品質近江米の栽培技術を確立するため、JA を中心に試験・研究と普及啓発を行います。 *環境負荷の少ない農薬の利用促進：病虫害防除のための講習会を開催し、滋賀県環境基準に適合した農薬の使用を啓発します。 *耕畜連携による環境にやさしい農業の推進：伊吹生産組合から出る稲わらを西山牧場で餌として提供し、西山牧場から出る牛ふんを伊吹生産組合で堆肥として利用します。 *特産品ブランドの開発：米原ならではの地域ブランド（環境に配慮）農産物を開発します。 *集落営農組織の支援：集落営農組織による大型機械の導入時には、環境に配慮した機械となるよう指導・助言を行います。 *環境こだわり農業の推進 *環境負荷の少ない農薬の利用促進 *耕畜連携による環境にやさしい農業の推進 *集落営農組織の支援	環境こだわり農産物認証面積	H19：138ha H20：171ha H24：265ha H21：178ha	*環境こだわり農業の推進：環境こだわり農産物として高品質近江米の栽培技術を確立するため、JA を中心に試験・研究と普及啓発を行います。 *環境負荷の少ない農薬の利用促進：病虫害防除のための講習会を開催し、滋賀県環境基準に適合した農薬の使用を啓発します。 *耕畜連携による環境にやさしい農業の推進：伊吹生産組合から出る稲わらを西山牧場で餌として提供し、西山牧場から出る牛ふんを伊吹生産組合で堆肥として利用します。 *集落営農組織の支援：集落営農組織による大型機械の導入時には、環境に配慮した機械となるよう指導・助言を行います。	環境こだわり農産物認証面積	189ha
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 よくできました	 あと一歩です	・目票値の再検討や方策を検討必要。				

4-5 耕作放棄地等解消対策支援事業（農林振興課）



美しい田園風景を守るために、市内の耕作放棄地の解消を図ります。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
耕作放棄地の全筆調査 米原市シルバー人材センターに委託 耕作放棄地は25haとなり、うち13haを耕作放棄地等解消対策支援事業の対象地とすることにした。 土地に何らかの理由があり、耕作放棄地となっていることが多い。例えば、入江干拓は、すぐに葭原になってしまうため、耕作放棄地が多い。	◎農地を所有する農業者等に対し、耕作放棄地への意思確認を行います。 ◎認定農業者や集落営農組織等に対し耕作放棄地等の解消対策のモデル事業の実施を依頼することにより、環境改善を図ります。 ◎認定農業者や集落営農組織等に取組要望調査を行い、取組をされる農業者等に支援を行った。また、再生後のフォローアップを行い、作付作物の検討や生育状況の現地確認を行った。	—	— —	事業周知と調査を取組要望調査を行い支援を行うとともに、再生ほ場のフォローアップを行う。	—	—
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 あと一歩です	 評価できません	・周期的な目標設定をすること。				

5 市民参加の森づくり事業

5-1 林務関係（農林振興課）

荒廃した里山を市民が親しみ利用できる森林として復元するため、森林整備を進めます。



H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
里山リニューアル事業は、市と森林所有者（地元区等）と協定を締結し、100%補助金で森林整備を行うもので、整備後は、地元区等が利活用計画を策定し、里山の維持管理を行うものです。 H20年度は6集落で事業を実施した。	◎市と森林所有者（地元区等）と協定を締結し、森林整備の方針、活用方法を検討します。 ◎森林ごとの整備方針に基づき、状況に応じた森林整備を行います。 ◎地元区等が利活用計画を策定し、整備後の里山の利活用・維持管理を行います。 伊吹（1.52）、高番（2.24）、志賀谷（2.53）、長岡（6.30）、大鹿（1.89）、大野木（1.08） 合計 15.56ha	・整備実施箇所数 ・整備後の利活用	6集落 15.56ha	1集落（万願寺区）16.50ha		
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 よくできました	 あと一歩です	・最終的な目標は、どうなのか。対象箇所の面積により目標値を定めること。				

(3) 「環のしくみが備わった田舎都市」創造プロジェクト

6 地球温暖化対策推進事業



6-1 地球温暖化計画地域推進計画策定事業（環境保全課）

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、市民・事業者・行政が協働して“地球温暖化防止”に取り組みます。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎出前集会や出前講座で地球温暖化対策を啓発した	◎策定までの経過を大切に、市民・事業所の意見交換のために市民ワークショップを開催します。 ◎ワークショップでは、家庭・事業所においてCO2削減のために実践できることを話し合ってもらい、最終的には環境パートナーシップ会議のなかで、目標設定を話し合ってもらいます。それらの結果と、カーボン・オフセットの検討などをまとめ、米原市地球温暖化対策地域推進計画を策定します。 ◎地球温暖化問題に対し、米原市ではどのような対策・活動ができるのか、市民、事業者、行政のそれぞれの役割と、3者が協働できることを明らかにし、米原市地球温暖化防止対策推進計画の重点プロジェクトの素案を作成しました。	—	— —	地球温暖化対策地域推進計画の素案の検討	—	—
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 評価できません	 がんばりましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・6-1から6-3については、何をすればいいのかわりにくいところであるが、継続して取り組みをしてほしい。 ・昨年実施された市民ワークショップでは、参加者が少なかった。もっと市民を巻き込んで実施する必要がある。 ・環境基本計画の柱でもあるので、もっと取り組みを進めてほしい。 				



6-2 CO2削減量将来推計（環境保全課）

持続可能な滋賀社会ビジョンの数値から、米原市のCO2排出量と将来推計による数値を算出します。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎琵琶湖環境科学研究センターの職員や県立大学の教授から、「持続可能な滋賀社会ビジョン」の作成経過について学ぶとともに、米原市での応用に向けての情報を得た。	◎米原市のCO2排出量の数値化（琵琶湖環境科学研究センター、大学と共同して実施） ◎米原市の将来ビジョンを設定（年間10回程度のワークショップを開催） ◎数値化後に数値目標の管理を実施する ◎地球温暖化対策連続ワークショップにより検討を行ったが、数値設定や将来ビジョンの設定には至らなかった。	—	— —	地球温暖化防止に向けて、市としてどのような施策展開をしていくのかを総合的に検討する。		
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 評価できません	 がんばりましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・6-1と同様、もっと取り組みを進めてほしい。 				



6-3 米原市版カーボンオフセット事業（環境保全課・農林振興課・商工観光課・政策秘書課）

水源涵養や国土保全などの機能を有している森林のCO2吸収機能に注目し、事業所との連携により、森林整備を進めます。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎湖東地域材システム協議会に参加し、カーボンオフセット事業の立ち上げについて学んだ。 講師を招き、第1回庁舎内ワーキングを開催した。	◎市と企業と森林組合の三者でパートナーズ協定と結び、企業が出資する森林整備費を活用して森林組合が整備を進めます。企業は社会貢献活動（CSR）として、市内の森林整備をすることができます（協賛金の提供、社員のボランティア活動など）。 ◎市は第三者認証機関を設け、森林整備によるCO2吸収量を算出し、企業に対しCO2吸収証書を発行します。また、実施した企業の名称と貢献実績を公式サイトなどで公表します。 ◎企業だけでなく個人も参加できることを目指します。 ◎市内の森林資源を有効活用するため、森林によるCO2吸収量の算定方法やクレジット制度について調査・検討を行いました。	—	— —	◎市内の森林資源を有効活用するための方策について検討・調査する。	—	—
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 評価できません	 がんばりましょう	・6-1と同様、もっと取り組みを進めてほしい。				



6-4 エコライフスタイルプラン（環境保全課）

市民のライフスタイルを環境負荷の少ないものへと変えることにより、CO2排出量削減を目指します。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎出前集会でエコ活動の啓発、意見交換 21回	◎市民参加型ワークショップを開催し、各家庭においてCO2削減のためにできることを話し合います。 ◎現在実施している“家庭版ISO”（環境家計簿）や“かっこECO（えーこ）と宣言”（環境宣言）などを一つにまとめ、“エコライフスタイルプラン”を作成し、A3両面印刷で全戸配布します。 ◎エコライフスタイルプランによる啓発を行います。 ◎地球温暖化対策連続ワークショップを開催し、CO2削減のためにできることについて検討した。エコライフスタイルプランは作成しなかった。	・参加世帯数	— —	地球温暖化防止に向けて、市としてどのような施策展開をしていくのかを総合的に検討する。	—	—
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 がんばりましょう	 がんばりましょう	・継続して取り組みを進めること。				



6-5 環境マネジメントシステム（環境保全課）

市役所の ISO14001 の活動を継続し、環境基本計画の推進や地球温暖化防止対策の活動を含めた取り組みを推進します。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
<p>◎エコオフィス活動と、環境に影響のある事務事業の監視および改善活動の継続をしている。</p> <p>○改善点 …部署別かっこ ECO と宣言、職員エコ活動情報収集および紹介を実施。</p> <p>○H21 年 1 月 更新審査を受審し、適合。</p>	<p>◎市役所業務における省資源・省エネルギーや、ごみ排出量削減、事業における環境配慮活動、危険物の管理と緊急事態訓練、職員研修等を継続して実施する。</p> <p>◎今後、市役所内のエコオフィス活動だけでなく、環境基本計画の推進や地球温暖化対策のための CO2 削減を含めた形で実施する。</p> <p>◎市内事業所に対し、環境マネジメントシステムの導入を促進。</p> <p>◎市民に家庭版 ISO(エコライフスタイルプラン)の普及を促進。</p> <p>◎米原市オリジナル環境マネジメントシステム構築に向けての検討を行った。</p>	<p>システムの改善 規格の適合 市役所の CO2 削減</p>	<p>△ 5 % (H19 比) H21 : △ 2.8 %</p>	<p>(仮称) 新米原市環境マネジメントシステムの構築</p>	<p>システムの改善 規格の適合 市役所の CO2 削減</p>	<p>△ 5 % (H19 比)</p>
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 よくできました	 がんばりましょう	<p>・組織体として、PDCA をどのように運用していくかが重要であり、PCDA を構築し、継続してほしい。</p> <p>・後退していくのではなく、今までを継続していくこと。</p>				



6-6 交通対策事業（市民安全課）

市内公共交通システムを再編、レンタサイクル事業により利便性向上により、経費削減、CO2 削減を狙います。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
<p>◎公共交通の最適化を実施 バス車両の代わりにタクシーを使い、利用者の無い便を走らせないように予約制にした。</p> <p>カモンバス 2 路線廃止 (9 月末)、藤川線廃止 (3 月末) →乗合タクシーカモン号に</p> <p>◎レンタサイクル (米原駅、坂田駅) の利用者が増加</p>	<p>◎路線バス運行</p> <p>◎コミュニティタクシーの運行 (H20 年 10 月からはカモンバス 2 路線を廃止して転換、藤川線については H21 年 4 月から転換予定)</p> <p>◎鉄道等公共交通の利用促進 (キャンペーン、出前講座)</p> <p>◎レンタサイクル (米原駅、坂田駅)</p> <p>◎路線バス運行</p> <p>◎コミュニティタクシーの運行</p> <p>◎鉄道等公共交通の利用促進 (キャンペーン)</p> <p>◎レンタサイクル利用 (米原駅 92 台、坂田駅 75 台)</p>	<p>市内全駅での乗車数</p>	<p>米原駅 H22 : 4572 人 醒ヶ井駅 H22 : 441 人 近江長岡駅 H22 : 938 人 柏原駅 H22 : 358 人 坂田駅 H22 : 664 人 近江鉄道米原駅 H23 : 249 人</p> <p>米原駅 4434 人 醒ヶ井駅 377 人 近江長岡駅 842 人 柏原駅 314 人 坂田駅 632 人 近江鉄道米原駅 240 人</p>	<p>◎路線バス運行</p> <p>◎コミュニティタクシーの運行</p> <p>◎鉄道等公共交通の利用促進 (キャンペーン)</p> <p>◎レンタサイクル利用 (米原駅、坂田駅)</p>	<p>市内全駅での乗車数</p>	<p>米原駅 H22 : 4572 人 醒ヶ井駅 H22 : 441 人 近江長岡駅 H22 : 938 人 柏原駅 H22 : 358 人 坂田駅 H22 : 664 人 近江鉄道米原駅 H23 : 249 人</p>
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 評価できません	 あと一歩です	<p>・レンタサイクル利用率が低い。</p>				



6-7 SILC事業（都市振興局）

「滋賀統合物流センター（SILC）」を誘致し、トラック輸送と鉄道輸送が連携した効率的で環境に優しい新物流システムを実現します。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎造成工事ほぼ完成 県土地開発公社から市が 買い戻しを行い、財産取得 2011年の本格操業を目標	◎米原南工業団地の整備 ◎滋賀統合物流センター（SILC）の誘致 ◎貨物ターミナル駅およびアクセス道路の整備促進 ◎工業団地の立地企業を決定し、土地売買契約を締結しましたが、事業着手に向けた準備が整わないことから、土地代金の支払期限を延長した。	—	— —	◎立地企業が早期に事業着手できるよう支援 します。また貨物ターミナル駅や同駅アクセス 道路の早期供用開始を目指し、関係機関など の協議調整を行います。	—	—
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 評価できません	 評価できません	・成功するように取り組みを進めてほしい。				

6-8 低公害車導入事業（管財課）



深刻化する地球温暖化対策を身近な問題として捉え、温室効果ガス排出量の少ない公用車の導入を促進します。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎特に無し ※H21年度 「地域活性化・ 経済危機対策臨時交付金」を 活用し、低公害車12台導入予定。	◎温室効果ガス排出量の少ない公用車（ハイブリッドカー、電気自動車等）の導入を進める。 ◎温室効果ガス排出量の少ない公用車（ハイブリットカー等）の導入「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を活用し、低公害車12台導入	温室効果ガス排出量の少ない公用車（ハイブリッドカー等）の新規導入	12台 12台	公用車の更新時には、温室効果ガス排出量の少ない公用車（ハイブリットカー等）の導入を行う。	温室効果ガス排出量の少ない公用車（ハイブリッドカー等）の新規導入	—
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 がんばりましょう	 よくできました	・補助金に頼るだけでなく、継続していくようにしてほしい。				

7 バイオマスタウン構想推進事業



7-1 有機質資源の堆肥化事業（コンポストステーション息吹の運営）（環境保全課）

温室効果ガスの発生抑制、有機物の農地還元、有機栽培による農作物の市内流通により、市民の健康増進を図ります。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎伊吹地域から発生する農業集落排水汚泥や生ごみのたい肥化を実施。	◎生ごみ、畜ふん、刈草・剪定枝、農業集落排水汚泥を資源とし、堆肥化します。 ◎堆肥「ゆめいぶき」を販売します。 ◎市内外からの視察を受け入れ、市内小中学校の環境学習の場とします。 ◎生ごみ、畜ふん、刈草剪定枝、農業集落排水汚泥の受入れ ◎堆肥「ゆめいぶき」の販売 農業集落排水汚泥は山東地区の受入れができるよう協議。平成22年度より搬入できるよう調整を行った。	市内全域での事業可能性を検証する。 堆肥生産量	H20 : 71.3 t H21 : 111 t	生ごみ、畜ふん、刈草剪定枝、農業集落排水汚泥の受入れ 堆肥「ゆめいぶき」の販売	市内全域での事業可能性を検証する。 堆肥生産量	受け入れ 1846t 堆肥「ゆめいぶき」の 販売 年 130 t
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 よくできました	 よくできました	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値を設定すること。 ・バイオマスタウン構想は、市が事業の推進をしているが、将来的には民間に任すべきではないか。 				



7-2 廃食用油利活用事業（環境保全課）

温室効果ガスの排出を抑制します。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎廃食油回収に向け、関係機関と協議を実施 ◎廃食油利活用検討委員会にて、具体的な回収方法について検討	◎市内の一般家庭と事業所の使用済み食用油を回収し、BDF（軽油代替燃料）に再生します。 ◎4集落での回収実験の実施	取り組みの基本は先ず排出抑制のため、「参加率」を目標値とします	廃食用油回収 1850 1戸あたり 0.220	指定区域4集落、各庁舎での回収実験の実施		廃食用油回収 5000
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 あと一歩です	 よくできました	<ul style="list-style-type: none"> ・BDFの利用を実行計画の目標に入れてはどうか。 ・公用車を使った見える化によるPRが必要である。 				

7-3 木質バイオマス事業（環境保全課）



里山の間伐材や、農地の籾殻などの木質バイオマスを資源と捉えて、その利活用を検討します。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎調査研究の実施	◎調査研究の実施 —	事業可能性を検証	調査研究 —	◎調査研究の実施	事業可能性を検証	調査研究
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 あと一歩です	 評価できません	<ul style="list-style-type: none"> ・実施する方向なのかどうか。 ・森林保全とからめて実施してはどうか。 				

(4) 「みんなで創る環境豊かな田舎都市」創造プロジェクト



8-1 環境啓発事業1 環境フォーラム（環境保全課）

市民・事業者の環境問題についての理解を深め、環境に配慮した活動を推進するきっかけを作り、環境リーダーの育成を図ります。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎初の取り組みとして、市民協働で企画・運営を行う「環境フォーラム市民実行委員会」を立ち上げる 市民実行委員会4回開催 テーマ「ホテルにまなぶスローライフ」 映像を駆使し、誰にでもわかりやすい環境フォーラムを目指した 嘉田知事からのビデオメッセージの上映 参加者から「かつこ ECO と宣言」および「わたしのエコアイデア」を募集	◎市民主体の実行委員会を立ち上げ、市民の方々とともに企画・運営を行うことにより、 ・地域への広がり拡大 ・計画段階から環境リーダーの育成を図る ・市民目線での環境啓発 ・企画内容の充実 ◎環境検定と同時開催することにより、相互の実施効果向上および参加者数増加を図ります。 ◎市民協働で企画・運営を行う「環境フォーラム市民実行委員会」を組織し実施 テーマ「川からまなぶスローライフ」 第1部 小学生を対象に自然観察会を実施 第2部 事例発表、講演会を実施	参加者数 来場者アンケート満足度	300名 151名 90% 60%	◎市民主体の実行委員会を立ち上げ、市民の方と企画・運営を行うことにより、 ・地域への広がり拡大 ・計画段階から環境リーダーの育成を図る ・市民目線での環境啓発 ・企画内容の充実	参加者数 来場者アンケート満足度	300名 90%
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 がんばりましょう	 がんばりましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が少ない。 				



8-2 環境啓発事業2 出前講座・出前集会（生涯学習課）

環境に関する情報や課題を市民にわかりやすく伝えることで、地域における実践活動につなげます。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎H20 年度生涯学習まちづくり出前講座における環境に関するメニュー数：6 ◎どこでも環境出前集会：37回（市内103自治会のうち35自治会で実施） 10月からの指定ごみ袋の有料化の啓発のために上期に集中的に実施した	行政の取組みや職員の専門知識を生かした講座メニューを作成。広報やウェブサイト等を通じて市民に事業を周知し、要請に応じて市職員が地域に出向き、講座を実施します。 環境については、世界規模の問題としてとらえた中で、地域や家庭の役割が認識でき、受講者を具体的な実践行動に誘うようなメニュー構成にすることで、実施効果を高めていきます。	環境講座メニュー数 環境講座の実施回数	H23：7 H21：7 H23：30 H21：3	行政の取組みや職員の専門知識を生かした講座メニューを作成。広報やウェブサイト等を通じて市民に事業を周知し、要請に応じて市職員が地域に出向き、講座を実施します。 環境については、世界規模の問題としてとらえた中で、地域や家庭の役割が認識でき、受講者を具体的な実践行動に誘うようなメニュー構成にすることで、実施効果を高めていきます。	環境講座メニュー数 環境講座の実施回数	H23：7 H23：30
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 よくできました	 あと一歩です	・特に意見なし。				



8-3 環境リーダー育成事業（政策秘書課・生涯学習課・環境保全課・自治振興課）

市民一人ひとりが環境に関心を持ち、持続可能な地域づくりに貢献していけるように、地域住民をリードする環境リーダーを育成します。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
<p>◆新たな公共担い手育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動ファーストステップアップセミナー共催により実施（12/14） ・まちづくりパワー創造フォーラム（3/8） <p>『2009年版地域活動の入口ご紹介（市内の活動団体プロフィール集）』発行 市民活動の”たまり場”モデル設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退職シニア支援のための『e-ガイドブック』を市 Web サイトに掲載 <p>◆ルッチ大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水の恵みを伝えるまちづくりグループまたたび六人衆の活動支援 ・水の恵み体験&体感ウォーキング夏のとどい～水の源を訪ねて（7月13日） ・水の恵み体験&体感ウォーキング秋のとどい～水とともに巡る旅（11月29日） <p>◆地域創造支援事業</p> <p>山東地域地域創造支援会議 フィールドワーク（地域の環境問題）の実施</p>	<p>◎新たな公共担い手育成事業：「市民活動ファーストステップセミナー」の協働実施。 「まいばら創年フォーラム（コラボ：みんなが主役のまちづくりフォーラム）」の開催。 『地域活動の入口ご紹介（活動団体プロフィール）2009年度版』の編集発行。</p> <p>◎ルッチ大学：環境問題に関する講義とフィールドワークイベントを企画し、地域の課題解決につなげます。</p> <p>◎地域創造支援事業：各地域において地域課題を整理し、その中の環境に関する事業について、応援する仕組みづくり（人材養成他）や補助金交付などを活用し事業の推進を行います。</p> <p>◎こどもエコクラブ：市内の環境活動団体（学校、園を含む）に、こどもエコクラブを紹介し登録を勧め、活動の活発化を図ります。</p> <p>◎NPO 等と職員による協働座談会の開催。地域創造会議と連携し活動団体交流発表会を開催。「地域活動の入口ご紹介 2009」の発行。団塊シニアの「たまり場」開設。</p> <p>◎ルッチ大学：環境問題に関する講義とフィールドワークイベントを実施した。</p> <p>◎地域創造支援事業：各地域において地域課題を整理し、その中の環境に関する事業について、応援する仕組みづくり（人材養成他）や補助金交付などによる事業の推進を行った。</p> <p>◎こどもエコクラブ：市内1団体が活動</p>	<p>環境リーダー数 （各自治会環境美化推進員数）</p>	<p>H29：300人 H21：213人</p>	<p>◎協働座談会、NPO 等スキルアップ講座、フォーラムの開催。団塊シニアの「たまり場」の支援。</p> <p>◎ルッチ大学：環境問題に関する講義とフィールドワークイベントを企画し、地域の課題解決につなげます。</p> <p>◎地域創造支援事業：各地域において地域課題を整理し、その中の環境に関する事業について、応援する仕組みづくり（人材養成他）や補助金交付などを活用し事業の推進を行います。</p>	<p>環境リーダー数 （各自治会環境美化推進員数）</p>	<p>H 29：300人</p>
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 評価できません	 がんばりましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会以外のリーダーを増やす必要がある。 ・登録制にしてはどうか。 ・環境意識のある方を任命するようなシステムにする必要がある。 ・各課が連携し、環境リーダーを施策に位置付け育成していく必要がある。 				



8-4 環境検定事業（環境保全課）

田舎都市を育む環境リーダーを育成し、米原市の自然環境についてより多くの方々に興味を持っていただくことを目的とします。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
◎事業実施について、市内部で検討の結果、下記理由により実施を見送ることとした。 【理由】 環境という地球規模にかかる事項について米原市だけで検定を行いその習熟度を測っても、その効果に疑問がある。市の施策を広く市民に理解していただくためには、歴史文化や地域の活動など米原市全体を捉えた検定とし、カテゴリーの一つとして環境をとり入れる方がより効果的であると考えられるため。	検討	—	—	検討	—	—
	—		—			
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 評価できません	 評価できません	・検定にこだわらず啓発活動は継続していったらどうか。				

8-5 環境教育推進事業（学校教育課）

市内の幼稚園や小中学校において環境教育を計画的に行い、子どもたちの環境に関する意識高揚を図ります。

H20 事業内容	H21 事業内容			H22 計画内容		
	計画内容	指標	H21 目標値	計画内容	指標	H22 目標値
	実施内容		H21 実績値			
環境教育年間 10 回以上達成 地域性に合わせて、各校で目的・目標を立ててもらっている。 幼稚園：植物・野菜育て、琵琶湖・伊吹山・三島池など身近な自然観察 小学校：ごみ処理施設の見学（4 年生）、川のクリーン作戦（全校）、空き缶リサイクル、水質調査（5 年生）、ゆりかご水田で育った二ゴロブナの放流体験（5 年生） 中学校：ごみ減量作成（生徒会主催）、間伐材を利用した木材加工	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、認定こども園においては、花や野菜を育てたり、公園や野山を探索したりして身近な自然にふれる取り組みを行います。 小中学校においては、教科学習や総合的な学習の時間、学校行事などを活用し、水質調査や生き物調査などの自然体験学習、地球温暖化問題などの環境問題学習、資源の枯渇などに対応するためのエネルギーに関する学習、環境保全活動等、学校ごとや学年ごとに様々な環境に関するテーマに沿った取り組みを行います。 各校園ごとに設定された計画に基づいて、学校ごとや学年ごとに様々な環境に関する取り組みをすすめた。 	各校園で年間 10 回程度実施（ISO14001 の目的目標）	各校園で年間 10 回程度実施 各校園で年間 10 回程度実施	○本市の「教育実践の重点」でもある「持続可能な社会をつくる基盤となる環境教育の充実」を目指し、各校園において、環境に関する取り組みをすすめます。 ・幼稚園、認定こども園においては、花や野菜を育てたり、公園や野山を探索したりして、自然を大切にしようとする心情を育みます。 ・小中学校においては、郷土の自然や身近な環境を調べる活動や環境保全活動などに積極的に取り組み、将来にわたって環境を守っていこうとする態度を養います。 ・すべての校園において、「みんなで伊吹山へ登ろう」事業を実施することで、ふるさとのよさを発見し、郷土を愛する心情を養います。 ・すべての校園において、牛乳パックのリサイクル活動に力を入れ、日々の活動だけでなく、その啓発にも力を入れていきます。	各校園で年間 10 回程度実施（ISO14001 の目的目標）	各校園で年間 10 回程度実施
H20 評価結果	H21 評価	委員評価・コメント				
 よくできました	 よくできました	・目標値は、平均値でもよいので具体的数値とする方がよい。				